

タイ・チェンマイ総領事が結城市を視察

タイの在チェンマイ日本国総領事館の川田一徳総領事が4月11日、結城市を訪れて、結城市役所や城西病院などを視察しました。結城市には、公益財団法人「茨城国際親善厚生財団 (IIF)」が教育交流を目的に招聘したタイの高校教師や生徒たちも出席し、歓談しました。

川田総領事は、平成29年11月にタイのメーサイ市で開かれた日タイ修好130周年、IIFとタイのメーファールワン財団との友好15周年、城西病院とメーサイ病院の友好13周年、結城市とメーサイ市の姉妹都市締結5周年の記念イベントに出席。結城から約100人の市民らがタイを訪れて記念イベントを行い、川田総領事がその結城市に興味を持って、今回視察を行うことになりました。

川田総領事は、結城市を訪れるのは今回が初めて。結城市役所を訪問し、前場文夫市長らと会い、結城市の立地や周辺環境、外国人登録の状況、経済など関心あることを尋ねていました。川田総領事は「首都圏の通勤圏にもなる地域で、とても自然に囲まれ、情緒ある街並みが残されている」と感想を述べていました。

引き続き通所リハビリセンター「茶釜の湯」を視察し、利用者と歓談。城西病院では、30数年前から取り組んできたインドシナやアフガニスタン難民の国際医療支援やタイとの交流の軌跡、友好関係などについて説明。白井平八郎県議も駆け付け、高校生たちを交えて時間が経つのを忘れるほど語り合っていました。

平成30年4月14日

